

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
1	上町二号橋	12.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰り、A1側橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)には遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。排水管に軽微な腐食が見られた(健全度4)。A1、A2橋台前面の護岸に、背面の水路から浸透したと思われる漏水が確認された(健全度4)。 今後の対策として、排水ますの土砂詰り、路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
2	増坪三号橋	12.7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後23年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。排水管に軽微な腐食が見られた(健全度4)。A1橋台前面の護岸に、背面の水路から浸透したと思われる漏水が確認された(健全度4)。 今後の対策として、排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。本橋は概ね健全である。			
3	増坪四号橋	11.8	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後21年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰り、A2側橋台背面に段差(35mm)が見られた。伸縮装置後打ち材に欠損が見られた(健全度3)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。A1側ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。排水管に軽微な腐食が見られた(健全度4)。A1、A2橋台前面の護岸に、背面の水路から浸透したと思われる漏水が確認された(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の後打ち材の欠損は放置しておくとし伸縮装置本体の損傷につながる為、補修を行うことが望ましい。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。			
4	小瀬新橋	13	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後25年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆に軽微な欠損が見られた(健全度4)。床版(桁)に橋軸方向のひび割れが見られたが、現状は幅0.1mm以下の為、経過観察とする(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。A1、A2橋台前面の護岸に、背面の水路から浸透したと思われる漏水が確認された(健全度4)。 この他に特筆すべき損傷は見られない。本橋は概ね健全である。			
5	四分川橋	12	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後33年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰り、橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵に軽微な変形、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面の間詰めコンクリートに橋面水の浸透による遊離石灰が広範囲にわたり見られた(健全度3)。桁端部に目立つことから目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)が間詰め部に浸透している可能性がある。A1橋台堅壁に鉄筋のかぶり不足による剥離・鉄筋露出が広範囲にわたり見られた(健全度3)。添架物の被覆材にひび割れが見られた。 今後の対策として、橋面及び伸縮装置の防水対策により、間詰めコンクリートへの止水を行うことが望ましい。橋台堅壁の鉄筋露出に関しては支点到近い為、断面修復を行うことが望ましい。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			
6	蓬沢一ノ橋	7.5	1	本橋の点検は、河川より近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面の防護柵が設置されていない。地覆にひびわれが見られた(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡が見られた。A1橋台右側の護岸ブロックに隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策としては、利用者保護の観点から防護柵の設置を検討したい。本橋は概ね健全である。			
7	第二川田橋	9.4	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後33年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰り、A2橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵に軽微な変形、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度3)。地覆に軽微な欠損が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。排水管の長さ不足(健全度3)により床版(桁)に水掛りが生じている。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により、橋台に漏水跡がみられた。A1側支承(エラストイト)に飛び出しが見られた(健全度4)。 今後の対策として、防護柵の再塗装、排水管の長さ延長、伸縮装置の止水機能改善を図ることが望ましい。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。			
8	中村橋	7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純H型鋼桁橋である。橋面のA2側橋台背面に段差(30mm)が見られた。舗装にひび割れ、剥離が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。防護柵に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。又、設置基準を満たしていない。伸縮装置には目地材が設置されておらず、沓座に路面排水が流下している(健全度3)。桁下面の鋼床版、桁、支承は全体的に防食機能の劣化が見られ、部分的に腐食していた(健全度3)。橋台前面の護岸石積みに隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策として、鋼部材の腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行うことが望ましい。又、非排水化構造の伸縮装置を設置するなどして路面排水の流下を防止する必要がある。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換が望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。	なし		
9	宮前橋	7.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の防護柵全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により、橋台に漏水跡がみられた。 この他に特筆すべき損傷は見られない。本橋は概ね健全である。			
10	第二高倉橋	11.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後29年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面のゴム製伸縮装置のガードプレートに変形が見られた(健全度3)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。排水管の長さ不足(健全度3)によって、床版(桁)に水掛りが生じている。A1側伸縮装置からの漏水(健全度3)により、橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、排水管の長さ延長と、伸縮装置の補修を行い、止水機能の回復を図ることが望ましい。			
11	大円川橋	13.4	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後34年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面の防護柵に軽微な変形と、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。A2側の鋼製伸縮装置に遊間の異常が見られた(健全度2)。主桁は胸壁に接触していなかったが、支承の遊間がなく、機能障害を起こしていた(健全度2)。桁は全体的に防食機能の劣化が見られ(健全度4)、支承には腐食が見られた(健全度3)。 今後の対策として、遊間の異常により、伸縮装置や支承に重大な損傷が生じる恐れがある為、速やかな補修が必要である。支承は腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行うことが望ましい。	F10T		
12	新田橋	10.9	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後30年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の橋台背面に段差(50mm)が見られた。A1橋台上のコンクリート舗装にひび割れが見られた(健全度4)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置に目地材の飛び出しが見られた(健全度4)。桁下面の間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。伸縮装置からの漏水(健全度4)により、橋台に漏水跡がみられた。A2橋台両脇の護岸天端付近に大きなひび割れが見られた(健全度3)。 今後の対策として、護岸の損傷箇所は大きく剥離する恐れがある為、補修を行うことが望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
13	板垣橋	10	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後30年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵に軽微な変形、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。A1側目地式伸縮装置に目地材の飛び出しが見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。A1、A2橋台に幅0.2mmのひび割れが見られた(健全度4)。 今後の対策として、路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
14	青竹桐橋	6.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後37年が経過している鋼溶接単純H型鋼桁橋である。有効幅員1.25mで車両は通行出来ない。橋面のA1側橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵の根元に腐食による断面欠損が見られ、耐力が低下している(健全度2)。又、設置基準を満たしていない。伸縮装置には目地材が設置されておらず、沓座に路面排水が流下している(健全度3)。桁下面の鋼床版、桁は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度3)。沓座に土砂が堆積しており、支承本体には腐食が生じていた(健全度3)。 今後の対策として、鋼部材の腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行い、又、非排水化の伸縮装置を設置するなどして路面排水の流下を防止する必要がある。防護柵は、腐食部分の速やかな補修が望まれるが、利用者保護の観点から補強もしくは交換の検討を行いたい。	なし		
15	桃山橋	6.7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後22年が経過している鋼溶接単純H型鋼桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、A1側橋台背面に段差(25mm)が見られた。桁下面のデッキプレート、桁は全体的に防食機能の劣化(健全度4)、桁端部に点錆が見られ(健全度3)、支承には腐食が生じていた(健全度3)。桁端部にコンクリート塊が付着している箇所があった(健全度3)。排水管に孔食が見られた(健全度3)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡が見られた。橋台前面の護岸石積みには隙間が見られた(健全度4)。A2橋台右側の路面排水に流末処理の不具合があり、支承が腐食しやすい状況にあった。 今後の対策として、鋼部材の腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能の回復を図りたい。桁端部のコンクリート塊を除去し、A2橋台右側の路面排水の流末処理を改善する必要がある。孔食している排水管の取替えも行いたい。	なし		
16	蛭橋	6.9	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後82年が経過しているRC単純中実床版橋である。橋面のRC製防護柵は車両衝突と経年劣化により、数箇所欠損が見られた。又、防護柵は設置基準を満たしていない。桁下面のRC床版は地覆部がアーチ状になっており、下面に経年劣化による剥離・鉄筋露出が数箇所見られた(健全度3)。A1側護岸の石積みに隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策として、床版の剥離・鉄筋露出は速やかに断面修復を行うことが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
17	第一池添橋	14.6	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後20年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、高欄にボルトの脱落が見られた。桁下面のPC床版(桁)には衝突による軽微な欠損が見られるが、ひび割れ、遊離石灰は確認されず健全である。A1側ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、排水ますの土砂詰り、高欄のボルトの脱落は維持工事によって機能回復を図りたい。本橋は概ね健全である。			
18	省路橋	6.5	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後経過年数は不明のPC単純プレテンション床版橋である。橋面の防護柵が車両接触により変形している。地覆にも車両接触による欠損が見られる(健全度3)。A2側目地式伸縮装置に目地の欠損が見られる(健全度4)。地覆側面にジャンカが見られる(健全度4)。桁下面の間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。A2側支承(緩衝材)の飛び出しが見られる(健全度4)。伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。A1橋台堅壁に欠損が見られる(健全度3)。護岸の天端が40mm程沈下している(健全度4)。 今後の対策として、防護柵は支柱に亀裂が見られ耐力が低下している恐れがある為、支柱の交換を検討したい。橋台は支点付近が大きく欠損している為、断面修復による補修が望ましい。			
19	北深橋	6.5	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面のコンクリート舗装には架設当初からと思われる凹凸が見られる(健全度4)。防護柵のRC製支柱に経年劣化によるひび割れが(健全度4)、鋼製ビームには防食機能の劣化が見られた(健全度4)。又、防護柵は設置基準を満たしていない。桁下面のRC床版には経年劣化による剥離・鉄筋露出が広範囲にわたり見られた(健全度3)。床版に水切りが未設置の為、床版に水掛りがある。これが劣化を助長しているものと思われる。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、床版の剥離・鉄筋露出は早急に断面修復を行うことが望ましく、同時に水切りの設置も行いたい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
20	南深橋	7.7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面の防護柵の鋼製ビームに防食機能の劣化が見られた(健全度4)。又、防護柵は設置基準を満たしていない。地覆天端には浮きが見られた(健全度4)。桁下面のRC床版A1側端部に経年劣化による幅0.4mmのひび割れが見られた(健全度3)。A2側ゴム支承(緩衝材)の飛び出しが見られた(健全度4)。橋台堅壁に幅0.2mmのひび割れが見られ(健全度4)、A1橋台翼壁には欠損が(健全度3)、A2橋台翼壁には幅1.0mmのひび割れが見られた(健全度3)。A1、A2橋台脇の護岸石積みに隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策として、床版のひび割れ補修と、橋台の断面修復、ひび割れ補修を行うことが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
21	不動橋	7.3	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後40年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面のA1側橋台背面に段差(30mm)が見られた。コンクリート舗装にひび割れが見られ(健全度3)、橋面水が浸透し、桁下面の間詰めコンクリートに漏水が生じている(健全度3)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面の添架物(水道管)に孔食が見られ、漏水している。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。A1橋台左側の護岸に漏水が見られる(健全度4)。A2橋台右側の護岸に洗掘が見られる(健全度4)。 今後の対策として、舗装の打ち替え、橋面及び伸縮装置の止水対策により、間詰めコンクリートへの橋面水の流入を防ぐことが望ましい。添架物の漏水は早急に補修を施す必要がある。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
22	八幡橋	8	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後45年が経過しているRC単純T桁橋である。橋面の親柱に欠損が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置の目地材に欠損が見られた(健全度4)。桁下面の主桁端部に鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。主桁中央にはジャンカが見られた(健全度4)。伸縮装置は舗装のオーバーレイにより漏水は止まっているが、沓座に土砂が堆積しており、支承に腐食が生じていた(健全度3)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。A1橋台の堅壁に幅1.0mmのひび割れが見られた(健全度3)。 今後の対策として、主桁鉄筋露出部分の断面修復、A1橋台のひび割れ補修、支承の腐食が断面欠損に至る前に再塗装を行うことが望ましい。			
23	将運橋	9.1	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後69年が経過しているRCアーチ橋である。橋面の舗装にひび割れが見られた(健全度4)。アーチ下面にはジャンカが広範囲に見られ、浮きが生じている(健全度3)。A2上流側アーチ基部付近には橋面排水の流末処理の不具合により洗掘され、奥行き40cmの大きな穴が見られた(健全度3)。A1下流側アーチ基部付近には幅5.0mmの大きなひび割れが見られた(健全度3)。A1橋台堅壁に背面の水路から浸透したと思われる漏水が見られた(健全度4)。 今後の対策として、アーチ下面の施工不良と思われるジャンカがあるため、断面修復の補修を検討したい。アーチ基部付近は断面修復とひび割れ補修を行うことが望ましい。A2橋台右側の橋面排水の流末処理はアーチ基部に排水が当たらない様、適切な処置を行う必要がある。			
24	三念坂橋	6.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後21年が経過している鋼溶接単純H型鋼桁橋である。橋面の防護柵に変形が見られた。伸縮装置は埋設されているが、舗装のひび割れより橋面水が浸透し、沓座に漏水していた。桁下面の鋼床版、桁は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。沓座に土砂堆積が見られ、伸縮装置からの漏水により、桁端部と支承に腐食が生じていた(健全度3)。橋台に架かる添架物の補強用鋼管に断面欠損が見られた。A1橋台前面の護岸石積みに隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策として、桁端部と支承は、腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能の回復を図りたい。添架物の補強用鋼管は落下する恐れがある為、取替えが必要である。	F10T		
25	宮裏橋	8.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後40年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵は笠木に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆には軽微な欠損が見られる(健全度4)。目地式伸縮装置に目地材の欠損が見られる(健全度4)。桁下面の間詰めコンクリートに遊離石灰、抜け落ちが見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。排水管に腐食が見られる(健全度4)。A1側支承(緩衝材)に飛び出しが見られる(健全度4)。伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、伸縮装置の止水機能の改善を図ることが望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
26	高倉上橋	8.6	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純H型鋼桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。又、設置基準を満たしていない。桁下面の鋼部材全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度3)。排水管の長さ不足により(健全度3)、床版に水掛りが見られた。又、床版に施工時に放置されたと思われる型枠が残っている。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、鋼部材は腐食が進行し断面欠損が生じる前に再塗装を行うことが望ましい。又、床版の型枠の除去、排水管の長さ延長を行い、防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換が望ましい。	なし		
27	茶道橋	12.7	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後38年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。舗装にポットホールが見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆の橋名板に変形が見られた。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、路面の段差、ポットホールは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
28	餅田橋	6.9	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後40年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面のコンクリート舗装に経年劣化による摩耗が見られた(健全度4)。防護柵は笠木全体に防食機能の劣化が(健全度3)、地覆にはうき、端部に欠損が見られた(健全度4)。伸縮装置からの漏水(健全度3)により、下面のA2側主桁端部に垂直補剛材の破断を伴う腐食が見られた(健全度2)。又、デッキプレート、桁全体に経年劣化による防食機能の劣化、腐食が生じていた(健全度3)。桁の使用ボルトはF11Tであったが、ゆるみ・脱落は見受けられなかった。ゴム支承に損傷は見当たらず健全であった。 今後の対策としては、主桁垂直補剛材の補修、鋼部材の再塗装を速やかに行うと共に、伸縮装置の止水機能回復を図る必要がある。防護柵は笠木の交換を行うことが望ましい。	F11T		
29	永寺二号橋	7.1	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後20年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面に特筆すべき損傷は見当たらない。桁下面のデッキプレートは腐食もなく健全であった。桁は全体的に防食機能の劣化が見られ(健全度3)、中間横桁にボルトの緩みが見られた(健全度3)。ゴム支承には損傷はなく健全であった。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により沓座に滞水が見られた。土砂堆積も見られたが、主桁端部には補修を必要とする腐食は生じていなかった。 今後の対策として、鋼部材は防食性低下により腐食へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能回復を図ることが望ましい。中間横桁のボルトの緩みは、締め直しを行う必要がある。	F10T		
30	千鳥橋	7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後20年が経過している鋼溶接単純H型鋼桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、A1側橋台背面に段差(40mm)が見られた。防護柵はガードパイプが設置されており、設置基準強度を満たしていない。桁下面のデッキプレート、桁は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度3)。A1側の主桁端部には変形が見られたが(健全度3)、桁の遊間やアンカーボルトには異常は見られなかった。支承は設置されておらず、主桁はアンカーボルトのみにより固定されている。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡が見られた。両橋台に背面の水路から浸透したと思われる漏水が見られた(健全度4)。 今後の対策として、鋼部材は防食性低下により腐食へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能の回復を図る必要がある。又、主桁変形部の補修を行うことが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
31	境橋	6.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 車道部は架設後51年が経過しているRC単純T桁橋で、歩道部は架設後18年が経過している鋼溶接単純H型鋼桁橋である。A2橋台上の舗装が剥離しており、車道と歩道の境目では陥没による直径10cm程の穴が見られた。車道部の張出し床版端部と主桁端部、横桁に、鉄筋のかぶり不足による剥離・鉄筋露出や浮きが見られた(健全度2)(健全度3)。歩道部の鋼床版、桁は全体的に防食機能の劣化が見られ(健全度4)、主桁中央部には腐食が見られた(健全度3)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。A1橋台の打ち継ぎ目に幅2.0mmのひび割れや浮きが見られた(健全度3)。 今後の対策として、車道部床版、桁の鉄筋露出と浮き部分の断面修復を速やかに行う必要がある。舗装の剥離、陥没の補修、歩道部主桁の腐食部分の補修、A1橋台のひび割れ補修と浮き部分の断面修復、伸縮装置の止水機能の回復を行うことが望ましい。			
32	一号土橋	6.4	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション床版橋である。山間部に立地する為、路面に土砂が堆積しやすい条件下にあり、橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。A1側橋台背面に段差(40mm)が見られた。コンクリート舗装が経年劣化により摩耗し剥離している(健全度4)。防護柵に軽微な変形が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面の間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。A2橋台の堅壁に欠損が見られた(健全度3)。橋台胸壁側面の形状が悪く、橋面より支承部に土砂が流入している。 今後の対策として、橋台堅壁の欠損は支承付近である為、断面修復を行うことが望ましい。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。			
33	清水橋	11.6	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後28年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。A1側橋台背面に段差(25mm)が見られた。防護柵に数箇所変形が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。A2橋台堅壁の前面に木材が置かれ不法占拠されていた。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
34	絵見棧橋	7	1	本橋は秩父多摩甲斐国立公園特別地域内(昇仙峡)にあり、点検は地上からの近接目視、ポールカメラにより行った。 架設後40年が経過しているRC単純中実床版橋(棧道橋)である。地覆側面に鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出(健全度3)、経年劣化による遊離石灰(健全度4)が見られた。桁下面のRC床版の打ち継ぎ目に漏水跡が見られた(健全度4)。又、谷側半面にスケーリング(表面剥離)が見られ、1箇所浮きも確認された。A1橋台堅壁にスケーリングが、A2橋台堅壁に欠損が見られた(健全度4)。 今後の対策として、地覆の剥離・鉄筋露出は断面修復を行うことが望ましい。その他の損傷は経過観察で対応可能である。			
35	雪江滝棧橋	9	1	本橋は秩父多摩甲斐国立公園特別地域内(昇仙峡)にあり、点検はポールカメラにより行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋(棧道橋)である。桁下面のRC床版に経年劣化による剥離・鉄筋露出が数箇所見られた(健全度3)。A1橋台堅壁に浮きが、A2橋台堅壁に欠損が見られた(健全度3)。 今後の対策として、床版の剥離・鉄筋露出は断面修復を行うことが望ましい。A2橋台堅壁の欠損は支点到に近い為、断面修復を行うことが望ましい。			
36	滝見棧道橋	8.5	1	本橋は秩父多摩甲斐国立公園特別地域内(昇仙峡)にあり、点検はポールカメラにより行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純桁橋(棧道橋)である。桁下面のデッキプレート、桁は全体的に経年劣化による防食機能の劣化、腐食が見られた(健全度3)。ゴム支承は損傷もなく健全であった。 今後の対策として、鋼部材は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行うことが望ましい。	不明		
37	筋違橋	10	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後41年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面のコンクリート舗装が経年劣化により摩耗しており(健全度3)、細かいひび割れより橋面水が浸透し、下面の床版に漏水が生じている(健全度4)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。鋼製伸縮装置の止水機能の低下により下面の沓座に漏水が見られ、主桁端部、支承に断面欠損を伴った腐食が生じていた(健全度2)。沓座モルタルに欠損が見られた(健全度3)。排水管に腐食が見られた(健全度3)。 今後の対策として、断面欠損している主桁端部の補強を行い、支承の補修を行う必要がある。その他の部分の鋼部材も、腐食が断面欠損に進行する前に再塗装を行うことが望ましい。又、舗装の打ち替え、橋面及び伸縮装置の止水対策により、路面排水の流下を防ぐ必要がある。	F9T		

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
38	草鹿沢大橋	8.4	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後38年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。A1橋台壁に遊離石灰が見られた(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の止水機能の改善を図ることが望ましい。また、橋面上からの止水機能を向上するため、床版防水を行うことが望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			
39	御岳一の橋	7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後20年が経過している鋼溶接単純桁橋である。山間部に立地する為、路面に土砂が堆積しやすい条件下にあり、橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵に軽微な変形が見られた。桁下面の鋼部材は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。 今後の対策として、排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。本橋は概ね健全である。	F10T		
40	中央道側道5号橋	7.1	1	本橋は河川(水路)の水位が下がらず、桁下面の点検は実施していない。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面のA2側橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵は変形とボルトの脱落が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。舗装面は、ひびわれは見られなかった。(健全度5) 今後の対策として、路面の段差、防護柵のボルトの脱落は維持工事により改善を図りたい。			
41	若宮橋	7.7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られ、A1側橋台背面に段差(25mm)が見られた。防護柵に軽微な変形、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆には軽微な欠損が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
42	下鍛冶屋上橋	10	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後25年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。伸縮装置の後打ち材に欠損が見られた(健全度3)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。拡幅部RC床版との打ち継ぎ目に遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、伸縮装置の後打ち材の欠損は放置しておく伸縮装置本体の損傷につながる為、補修を行うことが望ましい。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。			
43	新道橋	7.8	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後23年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、A1側歩道部橋台背面に段差(30mm)、A2側車道部橋台背面に段差(25mm)が見られた。橋面の排水処理が不良のため、歩道部に土砂や水溜りができている。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。A1側ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。また、維持工事により公園側からの土砂流入対策を図りたい。本橋は概ね健全である。			
44	内久根二之橋	9.2	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵に軽微な変形が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆にはひび割れが見られ、浮きが生じている箇所もあった(健全度3)。PC床版(桁)側面に鉄筋の被り厚不足による鉄筋露出が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。添架物の被覆材が剥がれ、管が腐食していた。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、地覆の浮きは剥離し路上に散々する恐れがある為、速やかな補修が望まれる。路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。			
45	内久根橋	14.7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンションT桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵に数箇所変形が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆側面には軽微な剥離・鉄筋露出が見られる(健全度4)。桁下面のPC桁、床版にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。橋台壁に幅0.1～0.2mmのひび割れが数本見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。本橋は概ね健全である。			
46	宮北橋	9.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後26年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。伸縮装置の後打ち材に欠損が見られた(健全度3)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。橋台壁に幅0.1～0.2mmのひび割れが数本見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の後打ち材の欠損は放置しておく伸縮装置本体の損傷につながる為、補修を行うことが望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			
47	東河原橋	14.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後22年が経過しているPC単純プレテンションT桁橋である。橋面のA1側橋台背面に段差(20mm)が見られた。ゴム製伸縮装置にゴムに変形が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
48	無名橋(545)	9	1	本橋の点検は、地上より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後15年が経過しているRCラーメン橋である。全ての部材において特筆すべき損傷は見当たらない。本橋は健全といえる。			
49	大津第一橋	13.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後14年が経過しているPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますの土砂詰りが見られた。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。 この他に特筆すべき損傷は見られない。本橋は概ね健全である。			
50	西河原橋	10.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後22年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますの土砂詰りが見られた。舗装にひび割れが見られた(健全度4)。防護柵に軽微な変形が見られた。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。A2側ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。本橋は概ね健全である。			
51	カラ沢橋	7.5	1	本橋の点検は、地上からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面のA2橋台上のコンクリート舗装が剥離しており、段差(20mm)が見られた。防護柵が設置されていない。桁下面のRC床版のA1側端部に漏水が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。A1側目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。A2側ゴム支承(緩衝材)に飛び出しが見られた(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の止水機能回復を図ることが望ましい。利用者保護の観点から防護柵の設置を検討したい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
52	無名橋(587)	7.9	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の拡幅された鋼溶接単純桁橋+PC単純プレテンション床版橋である。山間部に立地する為、路面に土砂が堆積しやすい条件下にあり、排水ますは設置されていない。橋面の橋台背面に陥没があり段差(20mm)、舗装にはポットホールが見られた。防護柵は設置基準強度を満たしていない。桁下面の鋼桁は全体的に経年劣化による防食機能の劣化が見られた(健全度3)。PCの間詰めコンクリートに軽微な遊離石灰が見られた(健全度4)。鋼桁のゴム製支承は概ね健全である。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、鋼桁部は防食性低下により腐食へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能の回復を図ることが望ましい。排水施設の設置、防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。路面の段差、ポットホールは維持工事によって改善を図りたい。	F10T		
53	立沢橋	14.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純桁橋である。山間部に立地する為、路面に土砂が堆積しやすい条件下にあり、橋面の排水ますに土砂詰りが見られる。防護柵は設置されていない。地覆側面に遊離石灰が見られた(健全度4)。桁下面の床版には漏水が見られた(健全度4)。桁下面の鋼部材は全体的に防食機能の劣化が見られ(健全度3)、桁端部には目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により腐食が生じていた(健全度3)。ゴム支承は損傷もなく健全である。橋台胸壁側面の形状が悪く、橋面より沓座に土砂が流入しており、主桁端部の腐食を助長している。 今後の対策として、鋼桁部は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能回復を図ることが望ましい。利用者保護の観点から防護柵の設置を検討したい。沓座の土砂を撤去し、橋台胸壁側面に土砂流入防止壁の設置が望ましい。	F9T		
54	無名橋(602)	12.4	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純上路ラス橋である。橋面に防護柵は設置されていない。桁下面の鋼部材は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。小橋台の基礎がコンクリートブロック積み擁壁の上の石積みである(健全度3)。 今後の対策として、小橋台の石積みは崩れる可能性があるため、補強又は改修を行うことが望ましい。又、利用者保護の観点から防護柵の設置が望ましい。			
55	平岡南橋	12.7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明の鋼溶接単純桁橋である。橋面のA1側橋台背面が陥没しており、段差(25mm)が見られた。防護柵は車両衝突による変形、笠木取付ボルトの脱落があり、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。地覆側面の鋼板に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のデッキプレートに漏水が見られた(健全度4)。鋼部材全体的に防食機能の劣化が見られ、部分的に腐食が生じている(健全度3)。支承はなH鋼が受梁として設置されており、腐食が見られた(健全度3)。橋台胸壁側面の形状が悪く、橋面より沓座に土砂が流入している。 今後の対策として、鋼桁部は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行い、橋台胸壁側面に土砂流入防止壁の設置が望ましい。路面の段差、防護柵の変形、ボルト脱落は維持工事によって補修を行いたい。	F10T		
56	昇仙栈道橋	3.9	1	本橋は秩父多摩甲斐国立公園特別地域内(昇仙峡)にあり、点検はボールカメラにより行った。 架設後40年経過しているRC単純中実床版橋(栈道橋)である。橋面のA1側橋台背面にコンクリート舗装が剥離しており、段差(25mm)が見られた。RC床版の側面にH鋼が埋め込まれており、全体的に腐食が見られた(健全度3)。又、床版全体にジャンカがあり、木片混入も見られた(健全度4)。橋台にもジャンカと木片混入が見られた(健全度4)。 今後の対策として、RC床版、橋台は剥離・鉄筋露出などが見られないので、経過観察で対応したい。床版側面のH鋼は腐食が進行して断面欠損が生じる前に再塗装を行うことが望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
57	北庚申橋	12.7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った 架設後47年経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られる。コンクリート舗装にひび割れが見られ(健全度4)、橋面水が浸透し、桁下面の間詰めコンクリートに漏水が生じている(健全度4)。しかし、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である。防護柵は設置基準を満たしておらず、変形、全体的な防食機能の劣化が見られた(健全度3)。排水管の長さ不足(健全度3)により床版(桁)に水掛りが生じている。目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。A2側のゴム支承(緩衝材)に飛び出しが見られた(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の止水機能回復、排水管の長さ延長、防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換が望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			
58	不動河原橋	8.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後35年経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面に排水ますの土砂詰りが見られた。舗装にひび割れが見られ(健全度4)、橋面水が浸透し、桁下面の間詰め部に漏水が生じている(健全度4)。部分的に間詰め部に目地材の脱落が見られた(健全度3)。又、床版(桁)に橋軸方向の微細なひび割れが見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。伸縮装置は埋設されているが、止水機能が低下しており(健全度4)、橋台に漏水跡が確認された。A1橋台下流側翼壁に幅15mmの大きなひび割れがあり(健全度3)、遊離石灰や欠損も確認された(健全度4)。A2橋台縦壁には幅0.1~0.2mmのひび割れが見られた(健全度4)。防護柵は笠木全体に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。 今後の対策としては、間詰め部の目地材の補修と、A1橋台翼壁のひびわれ補修を行うことが望ましい。			
59	平岡橋	7.9	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面のA1側橋台背面に段差(40mm)が見られた。防護柵はガードパイプが設置されており、設置基準強度を満たしていない。A1側地覆脇のカーブミラーが衝突により傾いていた。桁下面のRC床版に水切りが未設置であり、水掛りがある部分に剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。又、中央橋軸方向の打ち継ぎ目にひび割れが生じており(健全度3)、端部には浮きも見られた。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、床版の剥離・鉄筋露出の断面修復、ひび割れ補修を行うことが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換が望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
60	竜神橋	9.2	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション床版橋である。橋面のA2側橋台背面に段差(30mm)が見られた。コンクリート舗装全面にひび割れが見られ(健全度3)、橋面水が浸透し、桁下面の間詰めコンクリートに広範囲にわたり漏水が生じている(健全度3)。地覆には軽微な欠損が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 今後の対策として、舗装の打ち替え、橋面及び伸縮装置の止水対策により、床版(桁)、間詰めコンクリートへの橋面水の流入を防ぐことが望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
61	右左口1号橋	7	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面のアスファルト舗装に鉄筋の飛び出しが見られたが、端部で車両の通過する場所ではない。経過観察で対応可能である。上流側に防護柵が設置されていない。桁下面のRC床版にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。A1橋台端部に軽微な遊離石灰が見られた(健全度4)。 今後の対策として、利用者保護の観点から上流側の防護柵設置を検討したい。鉄筋の飛び出しに関して、常温合材等で埋めることが望ましい。本橋は概ね健全である。			
62	駒の前橋	9.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後43年経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面の防護柵に車両衝突による変形が見られ、部分的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面の張出し床版に鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。鋼部材全体的に経年劣化による防食機能の劣化が見られ、部分的に腐食が生じている(健全度3)。伸縮装置の下面に目地材の飛び出しが見られた(健全度4)。支承に腐食が生じている(健全度3)。橋台縦壁の打ち継ぎ目に幅1.0mmのひび割れが見られた(健全度4)。 今後の対策として、鋼桁部は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行い、床版の鉄筋露出は断面修復を行うことが望ましい。	F9T		
63	中畑西川橋	7	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りと、橋面のコンクリート舗装が経年劣化により摩耗し剥離している(健全度4)。防護柵に軽微な変形が見られ、全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置の目地材に欠損が見られた(健全度4)。又、伸縮装置からの漏水(健全度3)により橋台に漏水跡がみられた。排水管の長さ不足(健全度3)により桁下面のRC床版に水掛りが生じている。又、RC床版に水切りが未設置で、水掛りのある部分に剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。A1、A2橋台下の護岸の石積みに洗掘が見られた(健全度4)。 今後の対策として、伸縮装置の止水機能回復、排水管の長さ延長、床版に水切りの設置、床版の剥離・鉄筋露出は断面修復を行うことが望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
64	五味塚橋	9.6	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後43年が経過しているRC単純T桁橋である。橋面の防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。目地式伸縮装置の目地材に欠損が見られた(健全度4)。桁下面のA1側主桁端部に鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。沓座には土砂堆積が見られ、伸縮装置からの漏水もあり、支承に腐食が生じていた(健全度3)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。A1橋台の胸壁に鉄筋かぶり厚不足による鉄筋露出が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、主桁の断面修復と、支承の腐食が断面欠損に至る前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能の回復を図ることが望ましい。			
65	川久保橋	7.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後41年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面のA2側橋台背面に陥没が見られた。防護柵は笠木全体に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。舗装に軽微なひび割れが見られた(健全度4)。桁下面の床版には凍害によるスケリング(表面剥離)が確認された。又、張出し床版には鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。鋼部材全体に防食機能の劣化がみられ(健全度3)、支承に腐食が確認された(健全度3)。A1橋台に軽微な欠損が確認され(健全度4)、A1・A2橋台の護岸には洗掘による石積みの際間が確認された(健全度4)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。 今後の対策としては、鋼桁部は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行い、床版の鉄筋露出は断面修復を行うことが望ましい。	F9T		
66	北沼橋	12.9	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション中空床版橋である。農耕地に立地する為、橋面の舗装脇に土砂堆積が見られたが、排水装置は未設置である。橋台背面に段差(20mm)が見られ、舗装にひび割れが見られた(健全度4)。地覆端部に欠損や側面には遊離石灰が見られた(健全度3)。目地式伸縮装置に目地材の飛び出しが見られた(健全度4)。桁下面のRC床版中央部には曲げ応力の作用による橋軸直角方向のひび割れが多数見られたが、ひび割れ幅は0.1mm以下で漏水も確認されない為、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、地覆の欠損により防護柵の耐力低下が疑われるので、断面修復を行うことが望ましい。排水施設の設置を検討したい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
67	東沼境橋	13.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション中空床版橋である。農耕地に立地する為、橋面の舗装脇に土砂堆積が見られたが、排水装置は未設置である。A2橋台背面に段差(25mm)が見られ、舗装に剥離、ひび割れが見られた(健全度4)。防護柵端部に車両衝突による変形が見られた。地覆端部に欠損が見られた(健全度3)。桁下面のRC床版にはひび割れや遊離石灰は見られず健全である。A1橋台前面の護岸石積みに隙間が(健全度4)、A2橋台前面の護岸に崩壊が見られた(健全度3)。 今後の対策として、地覆の欠損により防護柵の耐力低下が疑われるので、断面修復を行うことが望ましい。護岸の崩壊は速やかな補修が望まれる。排水装置の設置を検討したい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。			
68	大竜橋	7.3	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。農耕地に立地する為、橋面の舗装脇に土砂堆積が見られ、排水ますに土砂詰りが見られた。A1橋台上の舗装が剥離しており、段差(30mm)が見られた。地覆端部にひび割れが見られた(健全度4)。桁下面のRC床版にはひび割れや遊離石灰は見られず健全である。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
69	上曾根4号橋	14.1	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られ、橋台背面に段差(40mm)が見られた。排水管に腐食が見られた(健全度4)。桁下面の床版(桁)中央部に幅0.2mmのひび割れが見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
70	大正橋	8.8	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純T桁橋である。橋面の伸縮装置は埋設されており、A2側舗装(伸縮装置部)にひび割れが見られたが(健全度4)、桁下への漏水は認められない。桁下面の張出し床版に鉄筋のかぶり厚不足による剥離・鉄筋露出が数箇所あり(健全度3)、浮きも見られた。横桁に大きな剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。 今後の対策として、床版と横桁の断面修復を行うことが望ましい。利用者保護の観点から防護柵の設置を検討したい。			
71	湯川三之橋	6.3	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後30年が経過しているPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰り、A1側橋台背面に段差(20mm)が見られた。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面のPC床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。間詰めコンクリートに遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。ゴム製伸縮装置の止水機能の低下(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。排水管に軽微な腐食が見られた(健全度4)。A1、A2橋台前面の護岸に、背面の水路から浸透したと思われる漏水が確認された(健全度4)。 今後の対策として、排水ますの土砂詰り、路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
72	坊寺橋	11.4	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純T桁橋である。A2橋台背面の道路は舗装されていない為、橋面に土砂堆積が見られるが、排水装置は未設置である。防護柵としてフェンスが設置されているが、設置基準強度を満たしていない。又、基部の変形、地覆の欠損(健全度4)が見られた。桁下面の床版、桁にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。橋台胸壁側面の形状が悪く、橋面より沓座に土砂が流入しており、支承に腐食が生じていた(健全度4)。目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。橋台前面の護岸石積みに洗掘、隙間が見られた(健全度4)。 今後の対策として、排水施設の設置、橋台胸壁側面に土砂流入防止壁の設置、フェンスは利用者保護の観点から設置基準を満たした防護柵への交換を検討したい。			
73	野岩橋	13.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後46年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。コンクリート舗装は経年劣化による摩耗が見られた(健全度4)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。A2側伸縮装置に目地材の脱落が見られ(健全度3)、伸縮装置からの漏水により、下面の桁端部、支承に腐食が生じている(健全度3)。又、鋼部材全体に経年劣化による防食機能の劣化が見られた(健全度3)。 今後の対策として、鋼桁部は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置目地材の補修を行い、止水機能回復を図ることが望ましい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。	F9T		
74	沢端橋	11.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後31年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面のA1側橋台背面に段差(20mm)が見られた。コンクリート舗装にひび割れが見られた(健全度4)。A2側伸縮装置に目地材の脱落が見られ(健全度3)、伸縮装置からの漏水により(健全度3)、支承に腐食が生じている(健全度3)。鋼部材全体に経年劣化による防食機能の劣化が見られた(健全度4)。伸縮装置下面に目地材の飛び出しが見られた(健全度4)。A2橋台胸壁右側の塩ビ製排水管が脱落しており、路面排水が沓座に流入している(健全度3)。 今後の対策として、支承は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置目地材の補修を行い、止水機能回復を図ることが望ましい。A2橋台右側の塩ビ製排水管の再設置を行い、沓座への排水流入を防ぐことが望ましい。路面の段差は維持工事によって改善を図りたい。	F10T		
75	沢端橋1号	7.9	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。橋面の防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。桁下面はRC床版A1側端部の打つ継ぎ目に遊離石灰が見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。A2側目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。 この他に特筆すべき損傷は見られない。本橋は概ね健全である。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
76	南庚申橋	8.9	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純T桁橋である。橋面のコンクリート舗装が経年劣化により摩耗し剥離している(健全度4)。防護柵の端部に車両衝突による変形が見られる。又、設置基準を満たしていない。目地式伸縮装置の目地材が脱落し、下面にエラストイトの飛び出しが見られた(健全度3)。沓座に土砂が堆積し、伸縮装置からの漏水もあり、支承に腐食が生じていた(健全度3)。床版、桁にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。 今後の対策として、支承の腐食が断面欠損に至る前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の目地材を補修し、止水機能の回復を図ることが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
77	天神橋	12.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション中空床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが、A1側橋台背面に段差(25mm)が見られた。床版(桁)にはひびわれや遊離石灰は見られず健全である。ゴム支承も健全である。 今後の対策として、路面の段差、排水ますの土砂詰りは維持工事によって改善を図りたい。本橋は概ね健全である。			
78	大堰橋	10	1	本橋の点検は、河川より梯子を使用して近接目視により行った。 架設後44年が経過している鋼溶接単純桁橋である。農耕地に立地する為、橋面の土砂堆積、排水ますに土砂詰りが見られた。A2側橋台背面に陥没が見られ、路面に凹凸が生じていた。舗装に経年劣化による摩耗とひび割れが見られたが(健全度4)、床版は健全で下面への漏水は生じていない。桁下面の鋼部材全体に経年劣化による防食機能の劣化が見られた(健全度3)。又、目地式伸縮装置からの漏水(健全度3)により、支承に腐食が生じていた(健全度3)。A1、A2両側全ての主桁が胸壁に接触している。支承に遊間の異常は見られない為、施工当初の設置ミスと思われる。 今後の対策として、鋼部材は腐食が断面欠損へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能回復を図ることが望ましい。主桁の遊間を確保する為の補修を検討したい。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。	F9T		
79	横手橋	7.5	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のRC単純中実床版橋である。農耕地に立地する為、橋面の舗装脇に土砂堆積があるが、排水ますに土砂詰りは見られない。橋面の防護柵に軽微な変形が見られた。地覆側面には衝突による軽微な欠損が見られた(健全度4)。桁下面のRC床版にはひびわれや遊離石灰は見られず健全であるが、排水管の長さ不足により水掛りが生じていた。A1側目地式伸縮装置からの漏水(健全度4)により橋台に漏水跡がみられた。A1橋台前面の護岸天端にひび割れが見られたが、損傷程度は軽微であり、経過観察で対応可能である(健全度4)。 今後の対策として、排水管の長さを延長し、床版への水掛りを防ぐことが望ましい。排水ますの位置が横断勾配端部になく、雨水滞水時にのみ機能する構造となっているので、滞水する前に排水する構造にすることが望ましい。排水ますの位置が、横断方向の最下位置に設置されていないため、雨水が滞留した時にのみ機能する構造となっているため、排水構造を改良することが望ましい。本橋は概ね健全である。			
80	新田橋	11.5	1	本橋の点検は、河川からの近接目視により行った。 架設後の経過年数不明のPC単純プレテンション床版橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。コンクリート舗装にひび割れが見られ(健全度3)、橋面水が浸透し、桁下面の間詰めコンクリートに広範囲にわたり漏水が生じている(健全度3)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度4)。排水管に腐食が見られた(健全度4)。A2橋台胸壁右側面に設置された塩ビ製排水管の取付部より沓座に排水が流出している(健全度3)。 今後の対策として、舗装の打ち替え、橋面の止水対策により床版(桁)、間詰めコンクリートへの橋面水の流下を防ぐ必要がある。A2橋台胸壁右側面の塩ビ製排水管の再設置が望まれる。排水ますの土砂詰りは維持工事によって機能回復を図りたい。			
81	洞橋	17	1	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後44年が経過している鋼溶接単純桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。舗装に経年劣化による剥離が見られたが(健全度4)。防護柵は全体的に防食機能の劣化が見られた(健全度3)。桁下面の張出し床版に鉄筋のかぶり不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。鋼部材全体に経年劣化による防食機能の劣化が見られた(健全度3)。ゴム支承に損傷はなく健全である。沓座面には土砂が堆積されている。A1橋台堅壁の打ち継ぎ目に幅1.5mmのひび割れが見られた(健全度4)。 今後の対策として、鋼部材は防食性低下により腐食へと進行する前に再塗装を行うと共に、伸縮装置の止水機能回復や沓座への土砂流入の防護を図ることが望ましい。又、床版の鉄筋露出は断面修復を、防護柵は再塗装を行うことが望ましい。排水ますの土砂詰りや沓座面の土砂撤去等は維持工事によって機能回復を図りたい。	F9T		
82	滝川橋	21.1	2	本橋の点検は、河川より脚立を使用して近接目視により行った。 架設後38年が経過している2径間のRC単純T桁橋である。橋面の排水ますに土砂詰りが見られた。防護柵の支柱に車両衝突による欠損が見られ、耐力が低下している。又、設置基準を満たしていない。桁下面の張出し床版端部、主桁端部、横桁に鉄筋のかぶり不足による剥離・鉄筋露出が見られた(健全度3)。又、主桁端部の支点上にひび割れが見られた。ひび割れは幅0.2mm～0.5mmが主であるが、第2径間G1に幅1.5mmの大きなひび割れが見られた(健全度3)。沓座に土砂が堆積し、支承に腐食が生じていた(健全度3)。橋台、橋脚の拡幅部にひび割れ、浮きが見られた(健全度4)。 今後の対策として、床版、桁の断面修復、ひび割れ補修を行う必要がある。又、支承の腐食が断面欠損に至る前に再塗装を行うと共に、A2側伸縮装置の止水機能の回復を図ることが望ましい。防護柵は利用者保護の観点から補強もしくは交換を検討したい。			
83	上町四号橋	5.8	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明のBOXカルバート橋である。 橋面損傷として経年劣化により生じた舗装ひびわれ(健全度4)、防護柵(h=750mm→設置基準を満たしていない)支柱基部の減肉を伴う腐食(健全度2)、橋面上に設置された信号機操作盤ケース、導線管の腐食(健全度3)が見られた。路面排水が不健全であり、路肩脇に土砂堆積が生じ(点検時、撤去済み)、防護柵基部の腐食が進行したものと推定される。防護柵の高さが基準を満たしていないことも踏まえ、取替の必要性を考える。 BOXカルバート内の頂版、側壁には、施工時に生じたと推定される乾燥ひびわれ(W=0.1～0.3mm)が部材全体に見られた(健全度3:頂版)、(健全度4:側壁)。一部側壁に設置された排水管周辺に遊離石灰の析出、頂版の漏水痕(水みちの発生)が見られた。特にひびわれは、開口幅が最大で0.3mm程度と比較的大きい為、ひびわれ注入等の補修が必要である。			
84	村中五号橋	2.9	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、伸縮装置(埋設ジョイント)上に沿った舗装ひびわれ(健全度4)、地覆には車両衝突等による欠損、鉄筋露出、標識柱基部には腐食進行により生じた亀裂(健全度2)が見られた。標識柱基部の腐食、亀裂は現在のところ軽微であるが、腐食が進行すれば標識柱の転倒が懸念される為、標識柱取替等早めの補修が必要である。桁下面損傷として、主桁の剥離、鉄筋露出(健全度2)が顕著であり、露出した鉄筋には減肉を伴う腐食の進行が見られた。コンクリートが劣化し、内部鉄筋の腐食が推測される。剥離、鉄筋露出範囲が大きく、損傷の進行も早いと推定される為、速やかに断面修復等の補修を図りたい。			
85	琴平橋	5.1	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後21年経過した単純RC床版橋である。 橋面損傷として、橋軸方向の舗装ひびわれ(健全度4)、ポットホール、防護柵端部のエンドキャップ欠損、防護柵全体に防食機能の劣化(健全度4)が見られた。いずれの損傷も軽微であり、状況に応じて補修を行うこととしたい。 桁下面損傷として、主桁の剥離(豆板)、鉄筋露出(健全度3)が見られた。豆板、及びコンクリート劣化により生じた鉄筋露出であり、内部鉄筋の腐食が推測される。早めの剥離、鉄筋露出範囲の断面修復等補修が望まれる。 下部工損傷として、A1橋台堅壁に施工時の乾燥収縮により生じたひびわれ、断面修復後のうき、堅壁前面に設置された排水管からの漏水痕、A2橋台堅壁に豆板(健全度4)が見られた。いずれも軽微な損傷であり、状況に応じて補修を行うこととしたい。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
86	八里橋	6.0	1	本橋の点検は、河川に立入り、脚立を使用しての近接目視点検を実施した。 架設後44年経過した単純鋼桁橋である。 橋面損傷として、橋面全体に生じた舗装のひびわれ(健全度3)、橋台背面に生じた段差(A1側20mm、A2側30mm)、防護柵全体に生じた防食機能の劣化、及び局所的な腐食の発生(健全度4)、地覆の剥離、伸縮装置の止水機能低下により生じた橋座面の漏水痕(健全度3)、排水管の断面欠損を伴う腐食(健全度1)が見られた。橋台背面の段差は、第三者被害の可能性も含め、擦付け、パッチング(維持工事)が必要である。橋座面への漏水が周辺部材の腐食の要因となっている為、伸縮装置の非排水化が必要である。又、排水管の長さ不足により、雨水が桁へかかる状況が見られた。孔食が生じた排水管の取替えと流末処理の健全化を同時に図る必要がある。桁下面損傷として、鋼部材の防食機能の劣化、腐食(主桁:健全度2、支承:健全度2)が見られた。特に、伸縮装置からの漏水により桁端部の腐食進行が著しい。今後は、伸縮装置の非排水化を実施した上で再塗装等補修を図りたい。下部工損傷として、橋座面の不法投棄、A2橋台壁の剥離(健全度4)、沓座モルタルの欠損(健全度3)が見られた。不法投棄は維持工事による撤去・清掃が必要である。	F9T		
87	横田橋	5.9	1	本橋の点検は、河川に立入り、脚立を使用しての近接目視点検を実施した。 架設後21年経過した単純鋼桁橋である。 橋面損傷として、防護柵全体に生じた防食機能の劣化、及び局所的な腐食の発生(健全度4)、地覆のうき、ひびわれ、A2伸縮装置の止水機能低下により生じた橋座面の漏水痕(健全度4)が見られた。特にA2橋座面の漏水が鋼部材腐食の進行を助長している。伸縮装置の非排水化等止水対策が必要である。 桁下面損傷として、鋼部材の防食機能の劣化、腐食(主桁:健全度3、横桁:健全度5、支承:健全度1)が見られた。前述の伸縮装置取替等による非排水化を実施した上で再塗装(部分塗装)が必要である。又、下部工損傷として、A2橋台壁に鉛直ひびわれが見られた。ひびわれは施工時の乾燥収縮により生じたもので損傷の進行はないものと推定される為、状況に応じて補修を行いたい。	F10T		
88	中久橋	5.3	1	本橋の点検は、河川に立入り、脚立を使用しての近接目視点検を実施した。 架設後21年経過した単純鋼桁鋼床版橋である。 橋面損傷として、防護柵に局所的な腐食の発生(健全度4)、地覆の鉄筋露出、伸縮装置目地材の脱落・漏水(健全度4)、橋台背面に段差(A1側75mm、A2側56mm)が見られた。特に橋台背面の段差は56～75mmと大きく、第三者被害が生じる可能性がある為、擦付け等段差解消が必要である。又、伸縮装置目地材の脱落は橋座面に漏水・滞水を生じさせ、支承の腐食(健全度3)要因となっている為、伸縮装置の非排水化等止水対策が必要である。 下部工損傷として、A2橋台壁に鉛直ひびわれが見られた。ひびわれは施工時の乾燥収縮により生じたもので損傷の進行はないものと推定される為、経過観察として状況に応じて補修等を行いたい。又、伸縮装置からの漏水の影響により石積み擁壁に漏水痕が見られた。前述したように伸縮装置の非排水化を図りたい。			
89	浅利橋	6.1	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純PCT桁橋である。 橋面損傷として、防護柵(h=820～840mm→設置基準を満たしていない)の防食機能劣化、腐食(健全度3)、地覆の剥離、伸縮装置周辺に沿った舗装ひびわれ(健全度4)が見られた。防護柵は全体的に腐食が見られ、かつ設置基準を満たしていない為、取替えが必要である。又、伸縮装置周辺のひびわれから橋台への漏水痕が生じている為、伸縮装置の非排水化等止水対策が必要である。 桁下面損傷として、主桁間目地に遊離石灰の析出が見られた。前述した伸縮装置からの止水対策により損傷の進行は抑制できるものと考ええる。 下部工損傷として、橋台前面の漏水痕、護岸擁壁のズレ、支承の変形が見られた。いずれも軽微であり、今後は状況に応じた補修等を図りたい。			
90	開運橋	6.5	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後75年経過した単純RC床版橋である。 橋面損傷として、伸縮装置(埋設ジョイント)上に沿った舗装ひびわれ(健全度4)、防護柵全体に防食機能の劣化(健全度4)が見られた。いずれの損傷も軽微であり、状況に応じて補修を行うことが必要である。 桁下面損傷として、主桁のうき、剥離、鉄筋露出(健全度2)が見られた。コンクリートが劣化し、内部鉄筋の腐食が推測される。うき、鉄筋露出範囲が大きく、損傷の進行も速いと推定される為、速やかに断面修復等補修等の計画が望ましい。 下部工損傷として、A2橋台に施工時に生じた剥離(豆板)が見られる。損傷は軽微であり、今後は状況に応じた補修で対応したい。			
91	柳川橋	5.5	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、防護柵(h=800mm→設置基準を満たしていない)親柱のうき、欠損、地覆の剥離が見られた。架設時の高欄の損傷の代替として新設されたガードパイプが併設されているが、設置基準を満たしていない。又、地覆もコンクリートに劣化が生じ、うき、剥離が見られる為、状況により防護柵の取替・地覆の断面修復等補修が必要である。 桁下面損傷として、主桁の剥離、鉄筋露出(健全度2)が見られた。コンクリートが劣化し、内部鉄筋の腐食が推測される。鉄筋露出範囲が大きく、損傷の進行も早いと推定される為、速やかに断面修復等補修が必要と考える。 下部工損傷として、橋台壁に鉛直ひびわれ、剥離、鉄筋露出が見られた。主桁の断面修復工を実施の際、並行して補修を実施すれば良いと考える。			
92	丸ノ内二号橋	4.2	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、舗装ひびわれ(健全度4)が見られた。損傷は軽微であり、下面への影響も見られない為、状況に応じて補修をすればよいと考える。 桁下面損傷として、主桁の剥離(豆板)、補修跡のうき、鉄筋露出(健全度3)が見られた。豆板、及びコンクリート劣化により生じた鉄筋露出であり、内部鉄筋、鋼材の腐食が推測される。今後は剥離、鉄筋露出範囲の断面修復等補修を図りたい。			
93	青沼橋	3.5	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版+単純PCI桁(拡幅部)橋である。 橋面損傷として、伸縮装置(埋設ジョイント)上に沿った舗装ひびわれ(健全度4)、防護柵親柱の脱落(健全度2)、地覆の剥離、鉄筋露出が見られた。舗装のひびわれは桁下の漏水の要因とも推定される為、伸縮装置の非排水化等止水対策が必要である。又、親柱の脱落は河川側へ脱落し、鉄筋のみでぶら下がっている状態である。維持工事による早めの撤去が望ましい。桁下面損傷として、主桁の剥離、うき、鉄筋露出(健全度2)が顕著であり、露出した鉄筋には減肉を伴う腐食の進行が見られた。コンクリートが劣化し、内部鉄筋の腐食が推測される。又、PC桁の下フランジの一部が剥離し、PC鋼線の露出が見られた。鉄筋露出範囲が大きく、損傷の進行も早いと推定される為、速やかに断面修復等補修が必要である。下部工損傷として、橋台壁にひびわれ、漏水痕、添架物設置周辺の剥離、うきが見られた。漏水痕は伸縮装置からの漏水と推定される為、前述のように橋面上の止水対策、剥離、うき箇所は断面修復等による補修が必要である。			
94	大泉橋	5.3	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後36年経過した単純RC床版橋である。 橋面損傷として、目地式伸縮装置が劣化・変形し、橋面上に隆起、段差(h=20mm)の発生(健全度4)、橋台背面の段差(h=25mm)、防護柵に軽微な擦り痕が見られた。伸縮装置、橋台背面の段差は20～25mm程度あり、第三者被害が生じる可能性がある為、維持工事による擦付け等段差修復が必要である。 桁下面損傷として、ゴム支承の変形(健全度4)が見られた。損傷自体は軽微であり、状況に応じて補修を図りたい。 下部工損傷として、橋台壁の漏水痕が見られた。擁壁に設置された排水管の流末処理不良により生じたもので、状況に応じて補修を図りたい。			

■点検結果報告

NO.	橋梁名	橋長 (m)	径間数	点検結果概要	備考		
					使用 ボルト		
95	湯川第一橋	5.8	1	本橋の点検は、河川に立入り、脚立を使用しての近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、橋台背面に生じた段差(A2側24mm)、防護柵の変形、地覆の剥離が見られた。橋台背面の段差は最大で24mmあり、第三者被害が生じる可能性がある為、維持工事による擦付け等段差解消が必要である。車両衝突等による防護柵の変形、地覆の剥離は、いずれも軽微な損傷であり、状況に応じて補修すればよいと考える。桁下面損傷として、かぶり不足により主桁下面に剥離および鉄筋露出(健全度3)が見られた。今後の対策として、露出した鉄筋に腐食が見られる為、断面修復等補修が必要である。 下部工損傷として、施工時の乾燥収縮により生じたひびわれ、伸縮装置からの漏水により生じた遊離石灰の析出が見られた。損傷が軽微であり、状況に応じて止水対策等の補修を図りたい。			
96	塩部北一号橋	4.5	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、橋軸直角方向の舗装ひびわれ(健全度4)、防護柵(h=800mm→設置基準を満たしていない)の防食機能劣化、腐食(健全度4)、設置ボルトのゆるみが見られた。防護柵は全体的に防食機能が劣化し、腐食箇所が見られ、設置基準を満たしていないことから、状況により取替え等措置が必要である。 桁下面損傷として、床版の剥離(豆板)、鉄筋露出(健全度3)、主桁の剥離(豆板)が見られた。豆板、及びコンクリート劣化により生じた鉄筋露出であり、内部鉄筋、鋼材の腐食が推測される為、断面修復等の補修を図りたい。			
97	長門田橋二号	3.8	1	本橋の点検は、河川に立入り、地上からの近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 橋面損傷として、橋面全体に生じた舗装のひびわれ(健全度3)、車両衝突等により生じた地覆の剥離・鉄筋露出、変形・欠損、伸縮装置の止水機能低下により生じた橋台縦壁の漏水痕(健全度4)、排水管未設置(健全度3)による地覆に生じた漏水痕(健全度3)が見られた。地覆の欠損が著しく、防護柵が未設置である為、防護柵設置も含めた地覆の復旧等補修が必要である。尚、各部材への漏水は状況に応じ、伸縮装置の止水対策、排水管設置等補修が必要である。又、橋面上にたわみと思われる変形が見られた。径間中央付近の桁へも橋軸直角方向の比較的大きなひびわれ(W=1.0mm程度)が見られることから、支間中央部で沈んでいると思われる。今後、詳細調査を実施し、損傷原因に対応した補修が必要である。桁下面損傷として、橋軸直角方向のひびわれ(健全度2)、剥離、鉄筋露出(健全度3)、剥離箇所からの漏水が見られた。主桁に生じたひびわれは、橋面上の異常なたわみと併せて詳細調査を実施し、状況に応じた補修の実施を図りたい。又、主桁に生じた剥離、鉄筋露出は断面修復等補修が必要である。下部工損傷としてA2橋台側に漏水痕が見られた。伸縮装置からの漏水と推定される為、前述のように橋面上の止水対策が必要である。			
98	滝戸橋	5.6	1	本橋の点検は、河川に立入り、脚立を使用しての近接目視点検を実施した。 架設後の経過年数不明の単純RC床版橋である。 損傷として橋面上には、防護柵の局所的な腐食(健全度4)、ボルトのゆるみ、ネットフェンスの変形、伸縮装置(埋設ジョイント)上に沿った舗装ひびわれ(健全度4)、下部工には、伸縮装置の止水機能低下により生じたA1橋台前面に漏水痕(健全度4)、橋台側面に剥離が見られた。いずれも軽微な損傷であり、状況に応じて補修をすればよいと考える。桁下面には、主桁下フランジにかぶり不足により生じた鉄筋露出(健全度3)が見られた。露出した鉄筋に腐食が見られる為、断面修復等補修が必要である。			